

## 令和4年度刈谷市スポーツ推進審議会 議事録

### 1 日時及び場所

令和4年10月12日（水）14時00分～15時15分

刈谷市役所 7階大会議室A

### 2 出席した委員 永田靖章、竹内晋岸、辻村享、鈴木裕子、江坂正和、高木正徳、二宮美香、山口博子、高岡育代（以上、敬称略）

欠席した委員 住田裕司（以上、敬称略）

### 3 事務局 教育長、教育部長、スポーツ振興監兼スポーツ課長、課長補佐、業務係長、指導係長、普及係長、普及係担当者2名

### 4 議事

議題1 刈谷市スポーツ推進審議会会長の選出と職務代理者の指定について—資料1

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランについて

(1) 取り組みの評価について—資料2-①・②・③・④

(2) 第3次スポーツマスタープランの見直しについて—資料3

### 5 議事内容

議事進行：スポーツ振興監兼スポーツ課長

#### 議題1 刈谷市スポーツ推進審議会会長の選出と職務代理者の指定について

##### 【事務局】資料1により説明

会長を委員の互選によって選出する。また、会長の選出後、会長が職務代理者を指定する。まず、会長の選出について立候補又は意見を伺う。

【委員】 前任の会長であり、社会体育に造詣が深く、経験も豊かな永田先生に引き続きお願いしたい。

【事務局】 会長を永田委員にとの意見があったが、永田委員の会長就任に賛同の委員は、拍手をお願いしたい。

【委員】 <拍手>

【事務局】 満場一致により永田委員に会長とする。永田会長には、会長席への移動と就任の挨拶をお願いしたい。

<永田会長あいさつ>

【会長】 職務代理者を選出は、会長が指定することとなっているため指名する。同じく体育の分野に造詣の深い鈴木委員に職務代理者をお願いしたいと思う。

【委員】 <拍手>

【会長】 鈴木委員を職務代理者とする。鈴木職務代理者には、席の移動をお願いしたい。

議事進行：永田会長、説明者：普及係長、業務係長、指導係長

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランについて

(1) 取り組みの評価について

【事務局】資料2-①・②・③・④を説明

【委員】成人のスポーツ実施率についてだが、高齢者が増えている現在、年齢別に実施率は算出しているか。

【事務局】次年度以降のアンケート調査で確認していきたい。

【岡部部長】刈谷市で2年に1回実施している市民意識調査では、年齢別、男女別、地域別も集計しているため、参考にしながら次年度以降に示していきたい。

【委員】昨年度の各総合型地域スポーツクラブへの新型コロナウイルス感染症対策等のための支援金20万円の交付と、塩田テニスコートへの日除けの設置には感謝している。

【会長】スポーツに限らず、基本的には自立して活動しなければならない。いつまでも行政に頼ってはいけない。自立して活動することがゴールで、それを助けるのが行政の役割である。交付された支援金を効果的に使ってほしい。

2028年に65%以上の成人のスポーツ実施率を目指しているが、スポーツの捉え方を押さえて理解できていれば、高い数値ではない。アンケート調査を実施する際は、スポーツの捉え方について市民にしっかりと理解してもらえるよう説明することや、スポーツにはラジオ体操や散歩なども含むというスポーツについての認識を正しく理解してもらう必要がある。

(2) 第3次刈谷市スポーツマスタープランの見直しについて

【事務局】資料3を説明

【委員】現行の調査を行っているのは、数値は上がらない。調査内容を具体的に実施する必要がある。

【事務局】推移を見るためには、同じ項目でアンケート調査を行うことが基本だが、スポーツの捉え方について説明を加えながら、実施していきたいと思う。

【会長】国の方針や数値との乖離がないように修正していく必要がある。第3次スポーツマスタープランは現状のまま進めていくが、第4次スポーツマスタープランの策定時には、国のスポーツ基本計画の数値との整合性を少しずつ修正していく必要がある。

【委員】トヨタ紡織サンシャインラビッツでは、OGの選手が子どもたちを対象にバスケットボール教室を行っている。このような活動を通して刈谷市に少しは貢献できているのではないかと考えている。

2点質問がある。一点目は、資料3の添付資料の裏面、⑫スポーツ・インテグリティの確保に記されている「スポーツ団体へのガバナンスコード」の具体的な内容について。二点目は、DXを推進する具体的な案について。

【岡部部長】一点目は、コンプライアンスなどスポーツ団体を運営する指針や行動原則を指す。国の施策を踏まえて、社会の動きを見ながら刈谷市としての今後の対応を考えていきたい。

二点目は、リモートによるスポーツ教室への参加やスポーツ施設の予約なども技術の発展に伴って進化していくため、施策の事業の中で研究し、社会の技術の進歩と合わせて進めていきたい。

【会長】 他に意見、質問もないようであるため、議題2「第3次刈谷市スポーツマスタープランについて」は以上とする。

なお、議題2で出た意見を踏まえ、事務局と最終評価をとりまとめて、昨年度の取り組み実績の評価としたい。

その他、刈谷市のスポーツについて意見がある場合は、発言をお願いしたい。

【委員】 知立市や名古屋市のように、国道23号線の高架下を有効活用できないか。

また、青山公園グラウンドのウォーキングコースは、歩行者用通路が他の地面よりも7cm低いため、雨が降ると水が溜まり、ぬかるみで滑って転んでいる人を見たことがある。一度、現場を確認して改善してほしい。

【会長】 事務局は、関係部署と連携し、予算の範囲以内で対応をお願いしたい。

【委員】 地元大学として、地域と一緒に事業に取り組んでいきたい。愛知教育大学では、2021年に「未来共創プラン」を策定し、未来をつくる子どもたちのために、学生だけでなく子どもたちの好奇心やチャレンジ精神も育むことができる場としていく目標を立てた。特に、私が携わっている幼児体育に関しては、野球やサッカーをやらなくても体遊びや体を動かすことで子どもたちのスポーツのきっかけに繋がると感じている。このような体遊びなどで刈谷市と連携してできることがあれば協力していきたい。

ぜひ大学に足を運んでいただき、大学の施設を有効活用してほしい。

【 閉 会 】